



## オンキヨーAVセンターの最上位機種を発売 最新のWindows® 7にも世界に先駆けて\*対応 PCとのLAN接続で音楽ファイルを高品位に再生します

TX-NA5007/TX-NA1007

ブロードバンドの普及やネットワーク技術の急速な発展により、映像や音楽コンテンツをPCやサーバーで管理してネットワーク経由で楽しむスタイルにも注目が集まっています。さまざまな音声や映像信号を扱うAVセンターには、AV機器同士の連携だけでなく、PCとの連携も重要なポイントのひとつになります。オンキヨーはPC用のオーディオボードやスピーカーなど、PCのサウンド分野に早くから参入し、CDクオリティを超える24bit/96kHzの高品質音楽配信やオーディオPCの開発などを通して、AV機器とPCの融合に取り組んできました。

このたび発売するTX-NA5007/1007は、AVセンターとして世界に先駆けて「Windows® 7」に対応\*。Windows® 7 PCとLAN接続すればPC側がAVセンターを認識し、最新のWindows Media® Player上でAVセンターを音声出力機器として選び、音楽ファイルをハイクオリティに再生できます。AV機器とPCの融合が進むこれからの時代にふさわしい、音質・映像・ネットワークすべての面でクオリティを極めたAVセンターです。

\*Network Media DeviceのDigital Media Rendererとして定義されるAVセンターで世界に先駆けて「Compatible with Windows® 7」の認証を取得。2009年8月24日現在、オンキヨー調べ

IMAGINATIVE SIGHT & SOUND

**ONKYO®**

プレスお問合せ先 オンキヨー株式会社 マーケティング課 山本誓一 TEL.072-831-8005  
写真画像はこちらから [www.jp.onkyo.com/](http://www.jp.onkyo.com/) の「New Products Topics」より当製品をクリックください  
掲載時のお客様お問合せ先 オンキヨーコールセンター TEL.050-3161-9555



TX-NA5007(B)

9.1ch対応AVセンター

¥367,500(税込) 9月11日発売予定

- グランド電位の安定化技術、特許技術回路「VLSC」や3段インバーテッドダーリントン回路など培われた音質技術を投入
- Windows® 7に初対応。PCやネットワーク対応HDD内の音楽再生が可能なネットワーク機能(24bit96kHz音源/DLNA対応)
- フルHD(1080p)、ブルーレイディスクの最新音声・映像規格まで対応する「HDMI ver.1.3a」
- 従来の水平方向の表現に加え、垂直方向も含む三次元的な空間表現が可能に。最先端「ドルビープロロジックIIz」
- 広さや奥行き空間表現を向上させる Audyssey Dynamic Surround Expansionリスニングモード搭載
- ホームシアターの世界基準「THX Ultra2 Plus」に準拠
- 最上位1080pまでアップスケーリングしてHDMI出力。クラス最高レベルの「HQV Reon-VX」ビデオプロセッサ搭載
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動、HDMI端子を活用した「RI HD」機能 ※

|         |  |
|---------|--|
| 定格出力    | 全チャンネル200W(6Ω、全高調波歪率0.08%以下、1ch 駆動時、20Hz～20kHz、JEITA)                          |
| 実用最大出力  | 全チャンネル280W(6Ω、1kHz、1ch 駆動時、JEITA)  |
| 周波数特性   | 5Hz～100kHz: +1dB/−3dB(Direct mode)   |
| HDMI端子  | 入力: 8 出力: 2(同時出力可能)  |
| 映像入出力端子 | 入力: D4 3、コンポーネント3、Sビデオ4、コンポジット5<br>出力: D4 1、コンポーネント1、Sビデオ2、コンポジット2             |
| 音声入出力端子 | 入力: デジタル7、アナログ10、7.1ch 1<br>出力: アナログ2、9ch 1、サブウーファー2、ZONE2(2ch) 1、ZONE3(2ch) 1 |
| 最大外形寸法  | 435(幅) × 199(高さ) × 464(奥行)mm   |
| 質量      | 25.0kg   |
| 付属品     | マクロ対応リモコン  |

※連動動作する他社対応機種 パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)との接続による連動動作



TX-NA1007(B)

9.1ch対応AVセンター

¥262,500(税込) 9月11日発売予定

- グランド電位の安定化技術、特許技術回路「VLSC」や3段インバーテッドダーリントン回路など培われた音質技術を投入
- Windows® 7に初対応。PCやネットワーク対応HDD内の音楽再生が可能なネットワーク機能(24bit96kHz音源/DLNA対応)
- フルHD(1080p)、ブルーレイディスクの最新音声・映像規格まで対応する「HDMI ver.1.3a」
- 従来の水平方向の表現に加え、垂直方向も含む三次元的な空間表現が可能に。最先端「ドルビープロロジックIIz」
- 広さや奥行き空間表現を向上させる Audyssey Dynamic Surround Expansionリスニングモード搭載
- ホームシアターの世界基準「THX Ultra2 Plus」に準拠
- HDMI 出力1080p 互換対応機能とファロージャDCDi シネマエンハンサー機能搭載(ISFビデオ・キャリブレーション機能有)
- 主要メーカーのハイビジョンTVとシステム連動、HDMI端子を活用した「RI HD」機能 ※

|         |  |
|---------|--|
| 定格出力    | 全チャンネル180W(6Ω、全高調波歪率0.08%以下、1ch 駆動時、20Hz～20kHz、JEITA)              |
| 実用最大出力  | 全チャンネル230W(6Ω、1kHz、1ch 駆動時、JEITA)                                  |
| 周波数特性   | 5Hz～100kHz: +1dB/−3dB(Direct mode)                                 |
| HDMI端子  | 入力: 6 出力: 2(同時出力可能)  |
| 映像入出力端子 | 入力: D4 3、コンポーネント3、Sビデオ4、コンポジット5<br>出力: D4 1、コンポーネント1、Sビデオ2、コンポジット2 |
| 音声入出力端子 | 入力: デジタル6、アナログ9、7.1ch 1 出力: アナログ2、9ch 1、サブウーファー2                   |
| 最大外形寸法  | 435(幅) × 199(高さ) × 464(奥行)mm                                       |
| 質量      | 23.5kg   |
| 付属品     | マクロ対応リモコン  |

※連動動作する他社対応機種 パナソニック製ビエラリンク対応テレビ「ビエラ」およびDVDレコーダー「ディーガ」、東芝製レグザリンク対応テレビ「レグザ」、シャープ製AQUOSファミリンク対応の液晶テレビ「アクオス」(2008年4月以降の機種)との接続による連動動作

## 主なテクノロジー

### 最新フォーマットの実力を引き出すパワーアンプ

オンキヨーのAVセンターのパワーアンプ部は、アンプの地力ともいえるスピーカードライブ能力向上のために、回路自体の裸特性改善に着目し、歪率や周波数特性などスペック改善のためのNFBを最小限とした独自のワイドレンジアンプ技術「WRAT (Wide Range Amplifier Technology)」によるディスクリット構成を基本としています。チャンネル数の多いAVセンターにおいて、この思想をさらに高次元で結実させるため、まず電源供給ラインの見直しから行っています。電源部のブリッジダイオードと電解コンデンサーをパワーアンプ部の直近に配し、電解コンデンサーを中心に9chパワーアンプ回路を左右対称にレイアウトした上で、十分な電流容量をもつ銅バスプレートで接続。ドライバー回路は縦基板の上に配置することで電源供給経路を短縮し、電源供給効率の大幅な向上とグランド(アース)電位の超安定化を実現しています。同時に、音声周波数のような低い周波数領域ではこれまであまり問題視されなかった信号経路についても、左右チャンネルのパス(長さ)を揃えることで、空間表現力のさらなる向上を図っています。

さらにTX-NA5007/1007では、より一層の低インピーダンス化を実現する独自の3段インバーテッドダーリントン回路を搭載。パワーアンプの出カインピーダンスを低く抑えることで、スピーカードライブ能力が向上し、一般にはAVセンターで鳴らしきるのは難しいとされる大型スピーカーや低能率のスピーカーも余裕を持ってドライブします。電源部を支える電源トランスは、大容量のものを搭載。特にTX-NA5007においては、オーディオ回路専用で漏洩磁束が少なく筐体内の他回路に影響を及ぼしにくい大容量トロイダルタイプを採用。映像回路用とデジタル回路用には、それぞれ独立した専用のEIトランスを2基搭載しています。



TX-NA5007の電源部には、大電流へのレスポンスに有利な大容量トロイダルトランスを搭載

## 主なテクノロジー

### Windows® 7に対応。「Play To」機能を搭載

TX-NA5007/1007は、最新OS「Windows® 7」との互換性と信頼性を示す「Compatible with Windows® 7」ロゴを取得し、AV機器とPCのよりシームレスな連携を実現しました。

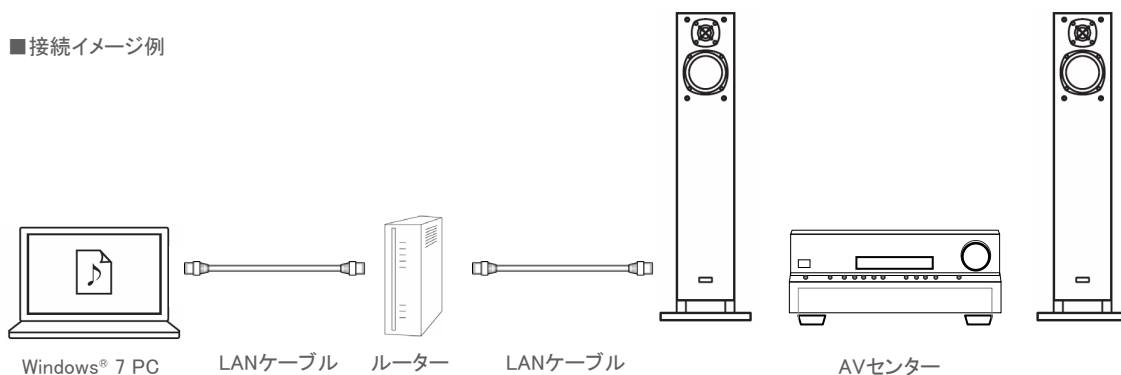
DLNA (Digital Living Network Alliance) に準拠し、Windows® 7 PCとLAN接続すれば、PC側がAVセンターを認識。Windows Media® Player上でAVセンターを再生機器として選択することができます。

音楽ファイルはWAV/WMA/WMA DRM/WMA

Lossless/MP3/AAC/FLAC/Ogg Vorbis/LPCMフォーマットに対応。あらたに24bit/96kHzフォーマットのファイル再生にも対応し、PCやDLNA準拠サーバー内の音楽ファイルを、今までにない使い勝手のよさで楽しんでいただけます。



#### ■接続イメージ例



- (1) Windows® 7 PCとAVセンターをLAN接続
- (2) PC側がAVセンターを認識
- (3) Windows Media® PlayerからAVセンターを再生機器として選択
- (4) 管理された音楽ファイルを再生

## 主なテクノロジー

### ピュアネスを追求した理想的なレイアウト

主にデジタル信号を扱うデジタル/ビデオ部と、アナログ信号が主体となるアンプ部。電氣的に全く性質の異なる両回路間で生じがちな電氣的・電磁的なノイズ干渉を抑えることができるよう、TX-NA5007/1007ではデジタル/ビデオ部とアンプ部を完全ブロック化して分割レイアウト。同一筐体内に2つのコンポーネントを格納する「ケース内コンポーネント」思想を徹底し、音質に影響する電氣的・電磁的な干渉を低減しています。



TX-NA5007 デジタル/ビデオ部(左)、電源部およびパワーアンプ部(右)

### フロントハイ/ワイドを活かした最先端サラウンド再生

2009年春にフロントハイスピーカーを含む7.1chリスニングモード「ドルビープロロジックIIz」への対応を実現したオンキヨーが、今度は新たに最新の「Audyssey DSX (Dynamic Surround Expansion)」への対応も実現。「ドルビープロロジックIIz」がベーシックな5.1chまたは7.1chシステムに、フロントハイスピーカーを加えた構成であるのに対し、「Audyssey DSX」では、フロントハイもしくは視聴位置から正面左右60°の延長線上の設置を理想とするフロントワイドスピーカーの選択も可能となりました。

これらの新しいリスニングモードでは、人間の聴覚が敏感な前方に対する空間表現力が向上し、サラウンドバックスピーカーを設置できない環境でも、よりドラマチックな再生が可能な7.1ch環境を構築することができます。TX-NA1007/NA5007には、9chパワーアンプと11台分のスピーカー出力端子を装備。全てのスピーカーを接続した状態でも、リスニングモード切り換えにより、フロントハイまたはフロントワイドのスピーカーを選択して7.1chまたは9.1ch再生がお楽しみいただけます。



#### TX-NA1007/NA5007

|                   | DOLBY<br>PRO LOGIC IIz | DSX<br>AUDYSSEY |
|-------------------|------------------------|-----------------|
| フロント (FL, FR)     | ●                      | ●               |
| センター (C)          | ●                      | ●               |
| サラウンド (SL, SR)    | ●                      | ●               |
| サラウンドバック (BL, BR) | ●                      | ●               |
| フロントハイ (HL, HR)   | ●                      | ● or            |
| フロントワイド (WL, WR)  | —                      | ●               |
| サブウーファー (SW)      | ●                      | ●               |
| 計                 | 9.1 ch                 | 9.1 ch          |

## 主なテクノロジー

### 高品位に映像出力。HDMIビデオアップスケーリング

アナログ映像入力をアップコンバートしてHDMI出力できるビデオアップコンバーターを搭載。TX-NA1007には1080pへのアップスケーリングに対応する「DCDi シネマ」回路を採用し、またTX-NA5007には放送局やハリウッドの映画スタジオに多くの納入実績を持つ「HQV Reon-VX」を搭載。1080pへのアップスケーリング対応や、ジャギー（輪郭のギザギザ）やデジタル映像特有のモスキートノイズ、ブロックノイズの低減など、フル10bitによる高精度な映像処理能力によりクラス最高レベルの画像処理を実現。加えてISFビデオ・キャリブレーション機能も搭載しています。

FAROUDJA

DCDi | CINEMA

HQV

### ジッターの影響を回避するジッタークリーナー

デジタル信号の伝搬遅延や回路の配線長の差などによって発生する時間軸に対するゆらぎの悪影響を排除するため、新たにPLL方式によるジッタークリーナーを搭載しました。また回路基板のパターンをできるだけ等長にし、HDMI信号を制御するICチップ内の回路長も含めて等長になるようカスタマイズを行うことにより、ジッターによる悪影響のさらなる回避を実現しました。

### ホームシアターの世界基準「THX Ultra2 Plus」準拠

THXはルーカスフィルム社が提唱したシアターの世界的品質基準です。全世界で5000を超える映画館が認可を受け、AVセンター等が認可されているのはホームシアター版となります。映画館特有の臨場感の再現を目的とした基準や規定が細かく体系化されており、認可には厳格な審査に合格しなければなりません。THX Ultra2はそのホームTHXの最高水準の規格です。そしてTX-NA5007/1007が準拠するTHX Ultra2 Plus規格は、小音量時にレベルの低い情報が失われない音量調整の技術も組み込まれており、ボリューム値に左右されることなくいつでもダイナミックな臨場感を楽しめます。

THX  
ULTRA 2™ PLUS

商標について ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。“Dolby”、“ドルビー”、“Pro Logic”およびダブルD 記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。DTS はDTS 社の登録商標です。また、DTS ロゴ、記号、およびDTS-HD Master Audio ,DTS Surround Sensation はDTS 社の商標です。レグザリンク、レグザは株式会社東芝の商標です。AQUOSファミリンクは、シャープ株式会社の登録商標です。その他の名称については、一般に各開発メーカーの商標または登録商標です。Microsoft、Windows、Windows Mediaは米国Microsoft Corporation の米国及びその他の国における商標、または商標登録です。